

助成受給団体名	おおさわちくぼうはんきょうかい 大沢地区防犯協会
事業の名称	地域における自主防犯活動の推進
実施期間	平成 27年 8 月 1 日～同 28 年 3 月 31 日
<p>実施した事業の内容</p> <p>①当協会の活動範囲は、17町内会を管轄し、かつ、旧来からの里山地域における農業を主体とした集落(8町内会)と振興団地(9町内会)からなり、犯罪の種類が異なっている。②また、小・中学校への通学距離も数キロの町内会もあり、生徒の登下校時に、犯罪に巻き込まれ易い地域である。③これらの、地域における犯罪の撲滅と子どもたちの見守り活動として、協会活動であることをアピールする意味も含めて、統一した制服の着用と指導用の安全小旗や防犯ハンドPOPを用いて、定期的なパトロールを年間を通して実施した。④また、防犯用ののぼり旗を、通学路や地域の公園及び協会の自宅などに掲示して防犯啓蒙に努めた。⑤当協会の管轄する警察署において、「振り込め詐欺」の被害が多発していることから、防犯出前講座を5回開催すると共に、「振り込み詐欺」を特集とした広報紙を作成し、全世帯に配布し啓蒙活動に努めてきた。⑥地域の小中学校の青少年健全育成協議会と共催で、小中学生と地域の住民を対象とした、「防犯標語とポスター」の募集を行い、入賞作品を行政機関・警察・金融機関・コンビニ店・各町内会等に掲示して、防犯に関する啓蒙活動に努めてきた。</p>	
<p>事業の成果</p> <p>①小中学生の下校時に定期的なパトロールを実施することによって、犯罪に巻き込まれるような事犯の発生の防止に寄与できた。②当協会の管轄する町内会において「振り込め詐欺」に関する電話を受けた世帯もあったが、振り込め詐欺の講習会を受講したことを参考にして被害を未然に防ぐことができたという報告もあり、被害0の地域である。③例年年末年始に「夏タイヤの盗難」が続発する地域であったが、今期は被害0である。地域住民の意識の向上が被害0に繋がった者と思われませんが、協会として定期的な防犯パトロール活動による抑止効果が発揮できている結果とも言える。</p>	
<p>今後の課題</p> <p>①今回、防犯活動の一環として、統一した制服や啓発用品等による活動を通して、一定の効果が得られていますが、活動が一過性で終わることなく、地域のパトロールと小中学生の見守り活動を継続することが必要である。②旧来からの農業を主体とした集落型の町内会と振興団地の町内会からなっており、今後とも、その地域に見合った防犯啓蒙に努めていく必要がある。</p>	

